

第19回技術報告会開催にあたり

著者	碓氷 泰市
雑誌名	技術報告
巻	19
ページ	none-none
発行年	2014-03-10
出版者	静岡大学技術部
URL	http://doi.org/10.14945/00008031

部の方々にも事務系の仕事を経験するような場を作って行きたいとも思っています。そのような場で、技術部の中だけでなく、学内全体を見渡すことができれば、技術職員としての仕事にも役に立つであろうし、技術部の中だけで閉じないキャリアパスを考えて行くためにも、役に立つでしょう。2 目目のお願いは技術部の中だけに閉じこもらず、事務系職員の働きぶりにも目を配り、大学全体の流れも把握して頂くきたいということです。

今日は2 3 件の沢山の報告をみんなでシェアする、長丁場の1 日になりますが、最後の懇親会まで楽しんで、お互いの仕事を理解して頂ければと思います。

第 19 回技術報告会にあたり

技術部長 碓氷泰市

皆さんおはようございます。

ご紹介いただきました、技術部長も4 年目になろうとしています。その間私も2 年間は技術部の一元化、昨年度からは一元化が達成されて、実際に2 年目が終わろうとしています。

平尾実行委員長からの話がありましたように、技術部もいろいろと発展途上です。私も4 年目を迎え技術部の方々とも面識が増えてきました、静岡のみならず浜松キャンパスの方ともよく話をする機会がございます。学長が技術部の将来像等について言及されました。私も同感です。

私が嬉しいのは、2 年目を迎えた報告会の内容です。学長が言及されていたように、将来に向け、これまでの、一技術職員が自分の守備範囲のみのスキルアップから脱却して、横のつながりや、また全学のことを考えながらの内容が今日の報告会でちりばめられていることです。たとえば、組織対応の内容を見ると、技術部全体の企画で袋井市での子供未来プロジェクト、子供に科学のおもしろさを教える等、皆さんで企画されています。

また、技術部のTV システムの確立で、部門を超えて農学部付属の便宜を図っていることです。それから、7 月に行われたSD 研修等で技術部が、それぞれ一丸となって対応していることが挙げられます。

一方、本年4 月から電子工学研究所が改組、それからグリーン科学技術研究所が新設されました。ご承知のように、両研究所には本学の先端機器が集中しております。その場を利用して、先端機器の研修やスキルアップに務め、全学支援に対して対応すべく先端機器の管理運営等も勉強しようという動きがあります。全学支援の中ではセキュリティに対する問題の対応、東部キャンパスでは茶毒蛾にも対応したり、様々によく拝見すると、横のつながりや全学支援、当初私自身が申し上げた中で、個人のスキルアップのみから脱却して、部局さらには全学と、非常に視野が広がった報告会ではないでしょうか。今後ますます、技術部を一元化して良かったと思われるように、私自身も進めた当事者でありますので、期待をこめているわけです。

今回懇親会も予定されている様です、1 日実りある会となることを期待しています。どうも有り難うございます。